

令和3年9月教育委員会定例会 会議録

令和3年(2021)9月29日(水)午後2時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所6階委員会室に招集した。

1 会議に出席した委員

教育長	杉谷 学
教育委員(教育長職務代理)	錦田剛志
教育委員	金築千晴
教育委員	内藤祐馬
教育委員	伊藤恵美

2 説明のため会議に出席した者

副教育長	三島武司
教育部次長	松浦和之
教育部次長	金築健志
市民文化部次長	片寄友子
教育政策課長	常松博雄
学校教育課長	福間耕治
児童生徒支援課長	兒玉浩二
教育施設課長	園山裕二
学校給食課長	石橋健治
出雲科学館長	鬼村修治
学校教育課主査	山本芳正
児童生徒支援課課長補佐	吾郷尚志

3 会議の書記

教育政策課課長補佐	池尻精二
-----------	------

4 傍聴者

1名

開会

(杉谷教育長) 只今から、令和3年9月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 教育長行政報告

(杉谷教育長) それでは、「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

1 前回以降の動向

R3.8.26	出雲農業創生会議(出雲農林高校)
R3.8.30	県教育長視察(出雲科学館ほか)
R3.8.31	出雲市議会9月定例会開会・全員協議会
R3.9.3	出雲市議会9月定例会一般質問(~8日)
R3.9.10	出雲市議会9月定例会文教厚生委員会・分科会
R3.9.13	少年の主張出雲大会(佐田中)
R3.9.15	出雲市議会決算特別委員会(~21日)
R3.9.22	市職員ポイ捨て一掃大作戦(雨天のため中止)
R3.9.27	出雲市議会閉会・全員協議会
R3.9.29	定例教育委員の会議

2 今後の予定

R3.10.1	新規採用職員辞令交付式・第4回教育政策審議会
R3.10.4	教育委員学校訪問(~7日)
R3.10.8	新規採用職員正式任用式・学校医との懇談会
R3.10.12	国民スポーツ大会第2回理事会(松江市) まちづくりミーティング(稗原)
R3.10.13	第5回教育政策審議会
R3.10.16	東地区同和教育研究指定事業発表会(朝陽小)
R3.10.18	いじめに特化した教育長学校訪問(~11月10日)
R3.10.21	いじめ問題対策委員会・定例教育委員の会議

(杉谷教育長) 以上の報告について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

(杉谷教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回8月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に意見等ありませんので、8月定例会の会議録については、承認します。

3 議事

(杉谷教育長) それでは、議事に入ります。「議第 40 号 出雲市教育委員会請願等取扱要綱の制定について」を、教育政策課 常松課長 に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 大分省略して説明いたしましたが、只今の、議第40号について、何か質疑等はありませんか。錦田委員。

(錦田教育委員) 内容については、公平性も保たれておりますし、円滑に当委員会を運営していくうえで、ふさわしい内容だと思います。問題ないかと思います。議会の方の取扱いに準じて、作っているのでしょうか。

(杉谷教育長) 常松課長。

(常松教育政策課長) 議会の方では、規則があります。ここまで細かくは規定されていませんが、さらに内規があります。県内には、ありませんでしたが、他市の事例を参考にしています。

(杉谷教育長) 錦田委員。

(錦田教育委員) そういうことなんですね。わかりました。

(杉谷教育長) 他にございませんでしょうか。特に質疑等がないようですので、議第40号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第40号については承認します。

(杉谷教育長) 続いて、「議第41号 出雲市文化財保護審議会委員の任命について」を、市民文化部 片寄次長 に説明願います。

(片寄市民文化部次長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第41号について、何か質疑等がありましたら、お願いいたします。今回女性の委員を加えられるということですが、こうした文化財保護に関わられている女性の専門家の方というのは、比較的少ない状況なんでしょうか。

(片寄市民文化部長) 事務局の方でも、ぜひ、女性の方に参画いただきたいということで、島根県や松江市の委員について確認したところです。地元で専門的な立場から就任いただくという方は少ないです。今回の方については、専門的な立場のほかに、実際に博物館運営に関わっておられるということからの立場からの意見を頂戴したいと考えています。今、出雲市においては、専門的な知識をお持ちの方の中から選出させていただいている状況にあります。

(杉谷教育長) ありがとうございます。男女共同参画の視点から女性の委員さんをとということも、市全体としてはあります。今回、佐々木さんに参画いただくという提案でございます。特に質疑等がないようですので、議第41号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第41号については承認します。

(杉谷教育長) 次に、「議第42号 自衛隊の広告に関する陳情について(陳情第2号)」を、教育政策課 常松課長 に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 今回の冒頭において、こうした陳情等の取扱いの要綱を制定させていただきました。その前に受理をしていたものですので、今日議案にあげさせていただいております。ただいまの、議第42号について、何か質疑等はありませんか。回答案文をつけておりますけれども、この記載内容についていかがでしょうか。錦田委員。

(錦田教育委員) 教育委員会として、極めて適切な回答文だと思いますので、これ以上も、これ以外もないと思います。

(杉谷教育長) ほか、よろしいでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑ないようですが、議第42号について、事務局案どおり承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第42号については承認します。

4 報告

(杉谷教育長) 続いて4 報告にはいります。「令和3年度(2021)全国及び市学力・学習状況調査に係る結果について」を、学校教育課 福間課長から説明願います。

(福間学校教育課長) 資料をもとに説明

(杉谷教育長) さきほど、全国学力・学習状況調査を中心に説明させていただきました。何か、お気づきになる点とか、ご感想とかあればお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

(金築教育委員) 新聞を読んでいるという数値が低いです。そもそも、家で新聞を取っているのか。とっていない家庭が多いのではないかと考えています。そうすると、どうしても読むことも少なくなると思います。学校で子どもたちに聞いてみると、新聞をとっていないという子も結構います。読むほうがいいと思うので、どうにかして学校で置いておられると思うので、読む方向に取り組んでいくといいと思いました。

(教育長) このことについて、学校の状況とか何かありますか。松浦教育部次長。

(松浦教育部次長) 新聞については、ご指摘のとおり、ご家庭で取っていないところもあるかと思います。出雲市内においても、地域によって状況が異なっています。周辺部の家庭では、取っておられるところが多いです。ただ、取っておっても読むかどうかは、別問題です。学校でも、新聞を読むように積極的に指導しているところと、特に力を入れていないところもあります。力を入れているところについては、昇降口に新聞を置いて読むようにしておられたり、図書館に子ども新聞を置いて、自由に閲覧できるようにしているところもあります。

(杉谷教育長) 学校訪問に行かれた折に、そういう観点から見ていただけたらと思います。学校の特色なり、力を入れている部分が見れるかもしれません。他にありますでしょうか。伊藤委員。

(伊藤教育委員) この調査結果を見て、小学6年生の勉強時間と中学3年生の勉強時間がさほど変わらないように思うのです。毎年、こういう感じなのでしょうか。

(杉谷教育長) 福間課長。

(福間学校教育課長) 傾向としては、大体このような形です。実は、塾に行く時間もカウントされています。全国になると、塾に行ける環境があるところが多いという状況もありま

す。そのため、時間が多くなっているということもあるかもしれません。本市としては、大体こういった傾向で1時間から2時間という状況です。さきほど、言いましたように中学校におきましては、全体として少し時間が伸びている状況にあります。多ければよいという問題ではないかもしれませんが、より効率的、計画的に学習していくことが大切でないかと思います。

(杉谷教育長) よろしいでしょうか。

(伊藤教育委員) はい。

(杉谷教育長) 錦田委員。

(錦田教育委員) 先ほど、新聞の話も出たのですが、6ページのあたりで、いわゆる本を読んでいるというとか、勉強で図書館を利用している数値があります。私が教育委員に就任してから、大体全国平均よりも低いという傾向にあります。学校訪問をすると、厳しい財政事情の中にはありますが、図書館が一生けん命、ボランティアを含め環境づくりに努力しておられます。それがあまり読書をする習慣につながっていないのが残念な気がします。この背景については、どのようなことが考えられるのでしょうか。

(杉谷教育長) 福間課長。

(福間学校教育課長) 特に、中学生が図書の貸し出し冊数も少ないです。これは、時間が少ないというのが原因と思っています。小学校では、学校図書館の貸し出し冊数は、伸びてきています。令和元年度は一人当たり54冊であったものが、令和2年度は58冊となっています。図書の整備を重点的にしていただいたこともありますし、委員がご紹介いただいたように、司書さんやヘルパーさんの環境づくりにより、利活用が増えてきていると思っています。小学校は、徐々に増えてきていて、いろいろな成果が現れてきていると思います。中学校の方は、年間貸し出し冊数も少ないです。忙しいということもあるかもしれませんが、読書ヘルパーさんと連携するなど工夫しながら、図書館の活用について、引き続き推進を図りたいと思います。

(錦田教育委員) わかりました。

(杉谷教育長) 内藤委員いかがでしょう。

(内藤教育委員) 以前も話をしたことがあるのですが、これをホームページに載せられると思います。この間、家庭でテレビを見ていて、全国平均が出て、島根県の平均が出てきて、市の平均は出てこないわけです。うちの両親からすると、島根県の平均が出雲市の平均であると捉えてしまう。私も、出雲市が全国平均を上回っているのを知っていましたので、説明して、理解してもらいました。他のみなさんもそういう認識でしかない

と思うのです。非常にもったいないと思っています。ホームページに出されているということですが、これも認識がないのです。民間の考え方だと、これが教育委員会や学校の評価につながってくると思います。非常にもったいないと思っています。もう少し目立つような方法とか、全国平均を上回っているので、非常にいいことだと思います。もっと、外に向けて発表していてもいいと思います。

(杉谷教育長) 福間課長。

(福間学校教育課長) 今回、全国の調査がそろったことを受けて、市議会の方へも報告していきます。市のホームページにも掲載しますが、それから先の周知について、どこまで公表するかも含めて、検討していきたいと思っています。

(杉谷教育長) せっかく、学校も、教育委員会も含め頑張っている部分でありますので、ぜひ多くの方にそういうことを知っていただけたらと思っています。市としての状況が、内藤委員がおっしゃったように、違うということを知っていただきたいと思っています。努力していきたいと思っています。それでは、この学力調査については、よろしいでしょうか。

(各教育委員) はい。

(杉谷教育長) 続いて、「令和2年度(2020)出雲市学校給食会物資会計決算について」を、学校給食課 石橋課長から説明願います。

(石橋学校給食課長) 資料をもとに説明

(杉谷教育長) みなさま方からいただいている給食費で運営している物資会計です。さきほど説明いたしました。質問等ございますでしょうか。

(金築教育委員) 滞納について各学校と連携してとありますが、具体的には何か進んだものとかありますか。何か、方向が出てきたものとかありますか。

(杉谷教育長) 石橋課長。

(石橋学校給食課長) 滞納される理由がそれぞれの家庭であると思いますので、滞納の理由に応じた滞納整理を実施しています。学校を通じて指導をしています。保護者の方の同意が得られれば、例えば、児童手当から天引きにより、分割して納めていただくなどの手続きも取るようにいたしております。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) 心配なのは、滞納している家庭の子どもたちがきちんとごはんを食べているかどうか心配です。給食費払えてなくて、もしかしたら朝も晩もあまり食べていないというような子も実際いました。給食しか私は食べるものがないと言う子も聞きます。家庭で心配な部分もあって、滞納されている家庭については、家庭状況まで踏み込めないかもしれませんが、最低限ご飯を食べさせてもらっているかだとか、そういうことをやんわりと調べてもらうと助かります。滞納の額があるので、その子たちが本当に満足に食べているのかどうかは、非常に心苦しいところです。ただ、親が怠慢で払えないだけだと、話は違いますが。本当に貧困であって、払えないということであれば、何らかの対策なり、目を向けていただきたいという気持ちがあります。

(杉谷教育長) 石橋課長。

(石橋学校給食課長) 滞納される方それぞれ御事情があると思います。経済的に支援が必要ご家庭につきましては、就学援助ということで、給食費相当額についても公費で支援をしています。払える資力もないという方については、学校の方に相談いただければ、対応をとらせていただきたいと思います。きめ細やかな対応をとらせていただきたいと思います。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) この金額は、そういう方たち以外の滞納になる訳ですね。

(杉谷教育長) 石橋課長。

(石橋学校給食課長) いろいろな事情があります。払える資力があるのに払わない方も中にはいらっしゃいます。

(杉谷教育長) 他にいかがでしょうか。錦田委員。

(錦田教育委員) 食材の調達において、さきほど、令和2年度は県内の農産品の提供があったということでした。平素から、食の安全ですとか、地産地消、産業振興につなげる意味で、議会などでも給食の食材をなるべく、市内あるいは県内などの地元のものを活用できないかという事柄がいろんなところで言われてきています。私もそう思っております。現状の、地産地消のうごきとかあるのでしょうか。今後、そういった取り組みを考えているのでしょうか。

(杉谷教育長) 石橋課長。

(石橋学校給食課長) 学校給食におきましても、食育の観点から地産地消の推進を図るように国から求められています。出雲市でも、食材の納入先を選定するにあたり、まず

は市内産、次に県内産、国内産、外国産と言う形で、地元優先としています。今後も引き続き、そういう形で進めていく事を考えています。令和2年度の数值は、市内産も含めた県内産の食材の使用割合が59.6%、約60%程度です。これを少しでも引き上げるように、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

(杉谷教育長) 錦田委員いかがでしょう。

(錦田教育委員) それを聞いて少し安心しました。何年か前にお聞きしたときは、もう少し低かったような気がします。異物混入したときに、確か野菜が宮崎から買い取ったものだったということでした。そのときにこの話が議論されたと記憶しています。ぜひ、今後も地産地消に向けて、地域の産業振興もちろん食育の観点も含め、ぜひこの率が高くなるようにしていただきたいと思います。

(杉谷教育長) ほか、いかがでしょうか。

(各教育委員) なし。

(杉谷教育長) つづきまして、「9月定例会市議会への提出案件について」説明いたします。補正予算案件については8月の教育委員会の私の行政報告の部分で説明済みですので、「備品の取得について」のみ教育政策課 常松課長から説明願います。

(常松教育政策課長) 資料をもとに説明

(杉谷教育長) さきほどの説明について、何か質疑等はありませんか。金築委員。

(金築教育委員) スクールバスの定員が29人乗りと書いてありますが、29人乗りしかないのでしょうか。この大きさだけでしょうか。

(杉谷教育長) 常松教育政策課長。

(常松教育政策課長) 佐田地域で今回更新するのは、中型バスで少し大きくなります。シートは29人ですが、立っても乗れますので、60人くらいまで乗れるバス3台を更新します。他の学校も含めると大きさはまちまちです。最近は、乗る方が少なくなったので、大きいバスではなくて25人とか、いろいろな大きさのバスで運行しています。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) さくら小学校で見ているのですけれども、ときどき1人しか乗っていないのを見かけます。2、3人とかのときよりのバスとか、そういうものはないのでしょうか。

(杉谷教育長) 常松課長。

(常松教育政策課長) マイクロバスが25人くらい、先般朝陽小学校で2台購入しました。1人とか2人とかの場合は、タクシーを利用しているケースがあります。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) それは、すべて1人か2人の場合ですよ。1年生だけ帰るときがあって、そういうときは、曜日も決まっているので、もし、小さいのがあれば、小さい方がいいなと思います。効率よくできないか、その方が効率が悪いかもしれませんが。何か、考えてもらえばいいかと思いました。

(杉谷教育長) 常松課長。

(常松教育政策課長) 現実的にうまく進むかわかりませんが、交通政策課で令和4年度に向けて出雲市地域公共交通計画、路線バスとスクールバスが共用できないかなど、ワーキングが始まったところです。そういったところで、何かできるか検討していきたいと思います。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) ぜひ、検討をお願いします。

(杉谷教育長) 補足ですが、佐田のスクールバスは、名称がスクールバスですが、21ページの4番目を読んでいただきますと、一般混乗路線型対応となっています。一般の方も乗車することができることとなっています。乗り合いバスの機能を含んでいるため、料金箱がついていたりするのは、このバスだけです。それらを含めて、市全体で検討しています。通常、スクールバスに立って乗ることはないのですが、佐田地域の場合は、混乗型の中でたくさんの方が利用いただければ、立って乗ることも想定されるという仕様になっています。このことについては、よろしいでしょうか。

(各教育委員) はい。

5 その他

(杉谷教育長) それでは、「その他」に入ります。「教育委員会の後援について」、教育政策課 常松課長に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料をもとに説明。

(杉谷教育長) 後援事業について、質問ありませんか。

(各教育委員) なし

(杉谷教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かありませんか。

(各教育委員) なし。

(杉谷教育長) 次期教育委員会の日程ですが、10月21日(木)に開催させていただきます。衆議院選挙の関係で、予定していた会議室が使用できなくなりました。そのため、会場を出雲弥生の森博物館に変更して実施いたします。午後2時から、開催させていただきますと思います。よろしく願いいたします。

開会

(常松教育政策課長) 皆さま、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】 (午後3時1分)